

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

てんねんきねんぶつ

天然記念物

かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】新見市新見

【時代】不明

【指定年月日】昭和44年9月25日

【所有】個人

【見学】可

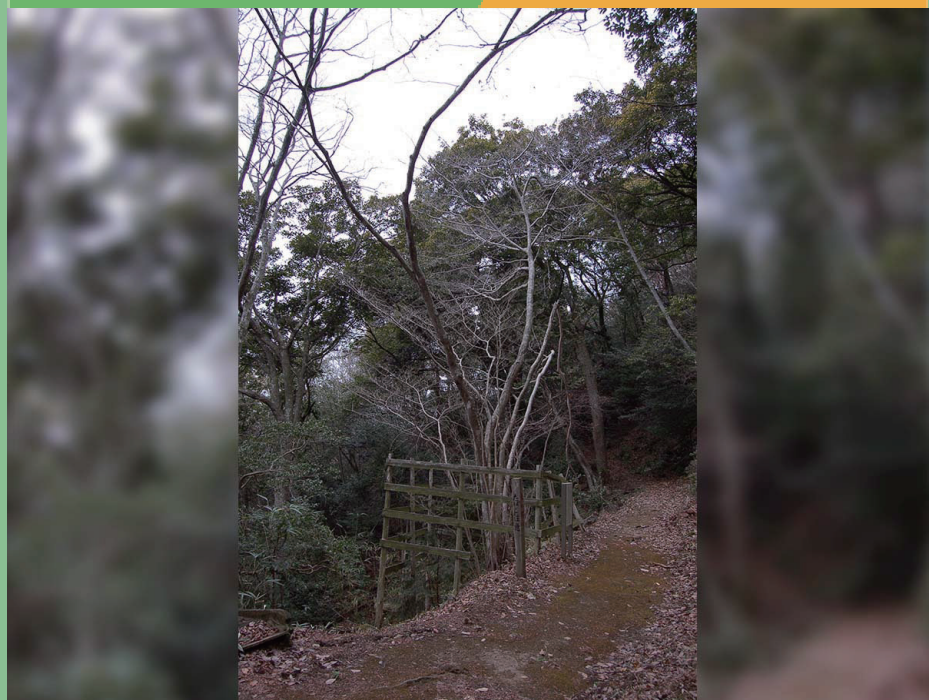


しょうりゅうじのあてつまんさく

青龍寺のアテツマンサク

かんけい しまち
関係する市町

にいみ し
新見市



てんねんきねんぶつ この天然記念物について

このアテツマンサクは、樹高約7m、目通り周囲0.56m、根元から11本の枝が分かれ、根元周囲は約2.5mに及びます。花は3月上旬に咲き、約10日間見ることができます。日本では中国・近畿地方西部の山地に自生しています。花のがく・花弁は4個で、花弁は黄色で細長く、葉は有柄・ひし状円形または倒卵形とうらんけいをしています。アテツマンサクは、大正3（1914）年にまきのとみたろう 牧野富太郎博士がくろかみやま 黒髪山で発見・命名されたもので、葉裏に白毛の生える高木であることから新種と決定されました。